

いったい「ユウ」に何があったの？

コージは、この追い詰められた友だちにかける言葉などもち合わせていなかった。そして、ユウは、言葉など交わしたら、泣き出してしまいそうになる自分を感じていた。ときおり、台所から聞こえてくる、調子っぱずれな鼻歌を聞きながら、二人は黙ったままでいた。

「おまたせー」吾郎は、台所からごきげんな顔でやって来ると、ラーメンの入ったどんぶりをユウの前に置いた。

「さっ、早く食え」

ユウは、割り箸をバキンと割ると、どんぶりに顔を近づけた。ふわっとあたたかい湯気が顔を包んだ。

「いただ・き……」ユウは、を食いしばった。あたたかい湯気で、張り詰めていたユウの心が、崩れ落ちた。

「うくっ、くくっ……」

涙を堪えるユウを見て、うろたえながら、吾郎がいった。

「おっ、なんだ、コージ。マラソンでもないか」

「えっ、う、うん」

ユウに止める暇も与えず、二人は玄関を飛び出した。

（こんな夜に、マラソンだなんて

……）と、ユウは思った。

（なんて、間抜けなんだ……なんて

……やさしいんだ……なんて……）

ユウの心には、^③ラーメンの特別な

あたたかさだけが残った。



Jump

文を深く読み取ろう！

(1) 線①「吾郎は、張り切って台所に向かった」とあるが、それはなぜか。次の文の空欄にあてはまることばを書きなさい。

腹が減っている様子の

に、

を食わせてやろうと思ったから。

(2) 線②「二人は黙ったままだった」のはなぜか。次の文の空欄にあてはまることばを書きなさい。

コージは、

友だち

にかける

をもち合わせていなかったし、ユウは、

を交わしたら、

しま

いそうだったから。

(3) にあてはまることばを漢字一字で答えなさい。

(4) 線③「ラーメンの特別なあたたかさ」とあるが、「特別なあたたかさ」とは、どのようなあたたかさを意味しているのか。考えて書きなさい。